

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 基金費	(細別)	番号	1
会計	一般会計 款 02 総務費	項 01 総務管理費	目 14 基金費	担当 商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる就業空間の構築	② 幸せ感じる就業空間の構築
	分野別計画	快適な商工業環境の創出	ゆとりと魅力ある農業・農村をめざして
	施策	付加価値の高い商品開発・製造と販路開拓の強化	安定した農業所得の確保

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 あさぎり町民	1 産業活性化対策及び雇用対策による地域経済の振興に係る事業を効率的かつ重点的に実施する
2	2
3	3
事務事業の概要 (業務構成)	
1 産業活性化対策及び雇用対策による地域経済の振興に係る事業を効率的かつ重点的に実施する	産業活性化基金管理業務
2	
3	
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等	
		実績	実績	実績	目標	達成度		目標
番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費(千円)						業務評価
		活動指標名 事業費	単位	H30実績 H30決算	R1実績 R1決算	R2実績 R2決算	R3目標 R3見込	
1	産業活性化基金管理業務	基金残高	千円	109,524	99,162	73,614	341,566	見直し
		事業費	千円	2,494	545	825	300,500	
2		事業費	千円					
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				2,494	545	825	300,500	
職員人件費等		業務量(人工数)		0.01	0.01	0.01	0.01	
		人件費(千円) B		79	78	81	80	
総事業費(千円) A+B				2,573	623	906	300,580	
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		分担金						
		地方債						
		その他特定財源						
		一般財源		2,494	545	825	300,500	
				79	78	81	80	

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	産業活性化対策及び雇用対策による地域経済の振興に係る事業を効率的かつ重点的に実施する	○概ね目標の成果が得られた
	2		
	3		
	<説明> 令和2年度実施：あさぎり町農業支援センター事業費 18,372千円 商工業振興補助金8,000千円		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> 基金を設置した町に管理義務があるため。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	産業活性化基金管理業務	⑥改善	事業費の見直し (拡充・縮小)	実施時期	令和4年度以降
				基金利子分のみでの事業費のため縮小	
2				実施時期	
3				実施時期	
4				実施時期	
5				実施時期	

《特記事項》

現在の事業計画では令和5年度に基金残高がなくなる見込みであるため、今後も町の産業活性化を図る必要があることから、基金設立当初の水準に戻すため、令和3年度において300,000千円の追加を予定している。

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	減額	縮小	R5年度に残高0円となる見込みであることから、創設したH22年度の水準に戻すために令和3年9月補正で3億円積立予定。R4は、基金利子分のみでの事業費になるため、減額、縮小。

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 地域おこし協力隊	(細別)	番号	
会計	一般会計 款2 総務費	項1 総務監理費	目19 地域おこし協力隊	担当 商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せを感じる交流空間の構築	②
	分野別計画	交流と連携による地域づくり	
	施策	地域活力の再構築	

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 地域おこし協力隊	1 地域協力活動を行う
2	2
3	3
4	4
5	5

事務事業の概要	(業務構成)
1 地域協力活動を行う	地域おこし協力隊
2	
3	
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
隊員数	人	2	2	0	0	#DIV/0!	0

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費(千円)						業務評価	
		活動指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績		R3目標
		事業費			H30決算	R1決算	R2決算		R3見込
1	地域おこし協力隊	隊員数	人	2	2	0	0	休止	
		事業費	千円	8,067	8,175	0	0		
2			人						
		事業費	千円						
3									
		事業費	千円						
4									
		事業費	千円						
5									
		事業費	千円						
直接事業費の合計(千円) A				8,067	8,175	0	0	/	
職員人件費等		業務量(人工数)		0.50	0.40	0.01	0.01		
		人件費(千円) B		3,933	3,138	81	80		
総事業費(千円) A+B				12,000	11,313	81	80		
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		分担金							
		地方債							
		その他特定財源							
		一般財源				12,000	11,313	81	80

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	地域協力活動を行う	△目標とする成果が得られていない
	2		
	3		
	<説明> これまでの地域おこし協力隊は、任用終了後の定住には繋がらなかった。		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> 総務省が実施している施策であり、町が任用して取り組む事業であるため。 ・地域おこし協力隊：都市地域から移住して地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら定住・定着を図る取り組み。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	地域おこし協力隊	⑦現状維持	休止	実施時期	
				定住に繋がらなかったため、令和2年度から休止としている。	
2				実施時期	
3				実施時期	
4				実施時期	
5				実施時期	

《特記事項》

※特別交付税措置

①地域おこし協力隊：隊員一人当たり400万円を上限（報償費等200万円、その他の経費200万円）

②地域プロジェクトマネージャー：1市町村あたり一人 650万円を上限

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	前年並	現状維持	

事務事業評価シート (R3実施)

あさぎり町

事務事業名		(費目) 商工総務費	(細別)	番号
会計	一般会計	款 06 商工観光費	項 01 商工費	目 01 商工総務費
				担当 商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる就業空間の構築	② 幸せ感じる就業空間の構築
	分野別計画	快適な商工業環境の創出	快適な商工業環境の創出
	施策	中心市街地・商店街活性化	商工会等関係団体との連携強化

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 町内の商工業者	1 町内における消費拡大、町内商工業者の所得向上、地域経済の活性化を図る。
2	2 町内商工業者の活性化及び地域産業振興を図る。
3	3 町内で生産された安全・安心な商品や、付加価値の高い加工品を開発、生産、販売することで町内の産業振興を図る。
事務事業の概要	(業務構成)
1 町内における消費拡大、町内商工業者の所得向上、地域経済の活性化を図る。	おまけ付き商品券発行業務、イベント補助金、商工業店舗改装及び新增築助成事業
2 町内商工業者の活性化及び地域産業振興を図る。	商工業制度資金利子補給補助事業、中小企業大学校人吉校研修費助成事業、個人用住宅増築及びリフォーム助成事業、商工業店舗改装及び新增築助成事業、商工業振興補助事業
3 町内で生産された安全・安心な商品や、付加価値の高い加工品を開発、生産、販売することで町内の産業振興を図る。	ふるさと振興社運営助成事業、販路開拓強化事業、推奨商品認証事業、産業活性化協議会補助金事業
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	南陵高校連携事業、消費者行政相談事業、商店街駐車場運営事業、県南フードバレー推進事業

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
ありがた商品券販売実績	千円	99,000	99,000	137,000	137,000	100.0%	99,000
商工業店舗改装及び新增築助成事業	件	2	3	1	3	33.3%	4
個人用住宅新增築及びリフォーム助成事業	件	78	71	82	75	109.3%	82
販路拡大事業	件	29	28	26	29	89.7%	27
推奨商品認定事業	件	1	3	0	2	0.0%	2
町推奨商品数	商品	24	24	22	25	88.0%	25
工業の製造品出荷額等	千円	1,243	1,243	1,221	1,000	122.1%	1,000
							工業統計より 総合計画900千円

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費 (千円)						業務評価
		活動指標名 事業費	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	
				H30決算	R1決算	R2決算	R3見込	
1	ありがた商品券業務 ●	販売実績	千円	99,000	99,000	137,000	99,000	見直し
		事業費	千円	10,000	9,894	28,851	10,000	
2	商工業店舗改装及び新增築助成事業 ●	助成件数		2	3	1	4	現状維持
		事業費	千円	1,367	1,243	1,000	4,000	
3	イベント補助事業 ●	来場者数	人	16,300	13,000	1,150	13,000	見直し
		事業費	千円	4,529	4,872	1,300	5,059	
4	商工会助成業務 ●	会員数	人	322	321	319	318	現状維持
		事業費	千円	7,800	7,800	7,800	7,800	
5	商工業制度資金利子補給補助事業 ●	助成件数	件	25	22	23	30	現状維持
		事業費	千円	397	345	321	500	
6	中小企業大学校人吉校研修費助成事業 ●	助成件数	件	3	2	1	3	現状維持
		事業費	千円	38	74	10	161	
7	個人用住宅新增築及びリフォーム助成事業 ●	助成件数	件	78	71	82	82	現状維持
		事業費	千円	16,412	19,106	16,837	20,000	
8	ふるさと振興社運営助成事業 ●	来場者数 (R1からネット販売件数)	人	28,677	2,776	4,033	4,300	見直し
		事業費	千円	2,000	1,500	0	0	
9	販路開拓強化事業 ●	参画事業者数	件	26	28	26	27	見直し
		事業費	千円	10,344	11,248	11,567	5,000	

10	推奨商品認証事業	●	認証数	件	1	3	0	2	現状維持
			事業費	千円	74	28	0	74	
11	産業活性化協議会補助金事業	●	基金活用事業数	件	1	1	0	1	現状維持
			事業費	千円	339	77	0	583	
12	南稜高校連携事業		導入機器	台	2	1	0	0	現状維持
			事業費	千円	129	143	0	0	
13	消費者行政相談事業		相談件数	件	31	31	35	35	現状維持
			事業費	千円	350	350	610	699	
14	商店街駐車場運営事業		駐車場台数	台	53	38	38	36	現状維持
			事業費	千円	3,300	1,800	450	0	
15	商工業振興補助事業	●	助成件数	件	0	34	62	50	見直し
			事業費	千円	0	6,107	9,187	10,000	
16	県南フードバレー推進事業	●							現状維持
			事業費	千円	0	582	573	606	
17	(コロナ) 商工業制度資金利子補給補助事業		助成件数	件			63	50	現状維持
			事業費	千円			1,847	3,000	
18	(コロナ) 商工業経営支援補助事業		助成件数	件			377	280	廃止
			事業費	千円			66,830	115,000	
19	(コロナ) 学生応援プロジェクト事業		申請件数	件			109	300	廃止
			事業費	千円			430	2,574	
20	駅東側駐車場用地購入事業								廃止
			事業費	千円			24,000	0	
21	(コロナ) 雇用調整助成金等申請費用補助事業		助成件数				3		廃止
			事業費	千円			299	0	
22	中心市街地活性化事業	●	委員会開催						見直し
			事業費	千円					
23	(コロナ) 感染拡大防止対策事業		助成件数				280		廃止
			事業費	千円			11,500		
24	(コロナ) 新しい旅行スタイル環境整備事業		レンタサイクル導入台数	台			9		廃止
			事業費	千円			982	0	
直接事業費の合計(千円) A					57,079	65,169	184,394	185,056	
職員人件費等			業務量(人工数)		2.80	2.50	2.00	1.40	
			人件費(千円) B		22,022	19,614	16,199	11,133	
総事業費(千円) A+B					79,101	84,783	200,593	196,189	
財源内訳			国庫支出金				129,462	120,574	
			県支出金				660		
			分担金						
			地方債						
			その他特定財源					1,000	
一般財源					79,101	84,783	69,471	75,615	

3 CHECK (評価)

	項 目	判 定
事務事業 の成果	1 町内における消費拡大、町内商工業者の所得向上、地域経済の活性化を図る。	○概ね目標の成果が得られた
	2 町内商工業者の活性化及び地域産業振興を図る。	○概ね目標の成果が得られた
	3 町内で生産された安全・安心な商品や、付加価値の高い加工品を開発、生産、販売することで町内の産業振興を図る。	○概ね目標の成果が得られた
	<説明> 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントは中止となり、町内事業所の感染予防対策・売り上げ減少や事業継続を支援するコロナ対策事業を新設し実施している。町内の消費拡大や商工業者の活性化については、ありがた商品券や各種助成事業により概ね目標を達成した。	
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する	
	<説明> 町が実施する補助金業務のほか、町内消費拡大や商工業振興については商工会、物産振興・販路拡大についてはふるさと振興社、イベント等については実行委員会を組織して実施しており、各業務における役割分担は適切に対応できている。	

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	ありがた商品券業務	⑥改善	事業費の見直し(拡充・縮小)	実施時期	令和4年度
				消費者(町民等)への生活支援及び地産地消等地域経済の活性化に有効な施策であり、さらに有益な事業となる可能性があるため、事業拡充等について検討・調整を行う。	
2	商工業店舗改装及び新增築助成事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				既存事業者及び新規事業者への経済的支援策として中心的な事業であり、今後も活力と魅力のある商工業の振興を図るため、継続して支援を行う。	
3	イベント補助事業	④地域・町民協働	その他	実施時期	令和4年度以降
				現在、商工会を対象に事業を行っているが、その他のイベントとの整合性を図り、各種団体や地域を中心とした持続可能なイベントへの変革が必要と思われる。	
4	商工会助成業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				義務的経費としての意味合いが大きいですが、地元事業者にとっての商工会の存在意義は大きいと思われる。	
5	商工業制度資金利子補給補助事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				事業者への補助として有益と思われるため。	
6	中小企業大学校人吉校研修費助成事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				中小企業大学校の利活用促進及び町民・事業所のスキルアップに貢献できる制度であるため、継続して費用の一部を助成する。	
7	個人用住宅新增築及びリフォーム助成事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				町への移住及び定住の促進と、町内商工業者の振興及び地域経済の活性化を図るため継続して支援する。3年毎に継続実施の有無を含めて事業方針を決定。現行事業はR4まで。	

8	ふるさと振興社運営助成事業	⑥改善	事業費の見直し(拡充・縮小)	実施時期	ふるさと振興社の経営状況の改善により、運営助成金については、令和2年度より支出していない。
9	販路開拓強化事業	⑥改善	事業費の見直し(拡充・縮小)	実施時期	平成30年度から令和2年度まで国庫補助を活用。令和3年度より事業費を縮小して実施していく。
10	推奨商品認証事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	町内で生産された優れた産品を認証することで、情報発信、販売促進、関係事業者の連携強化などの取り組みを推進し、地域経済の活性化を図る制度であるため。
11	産業活性化協議会補助金事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	産業活性化対策及び雇用対策等による地域経済の振興に係る事業を効率的に実施し、町経済の活性化を目的とする事業であるため。
12	南稜高校連携事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	3年間のハード事業を終了し、R2からソフト面でのサポートを行い事業を進めている。
13	消費者行政相談事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	管内町村の協定により設置されており、また、消費者相談体制の強化及び専門性の確保等に効果が見込まれるため。
14	商店街駐車場運営事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	対象駐車場の管理を商工会へ委託し、事務の軽減を図っている。
15	商工業振興補助事業	⑥改善	事業費の見直し(拡充・縮小)	実施時期	事業の利用者も多く、町内事業者の活性化に寄与しているため。
16	県南フードバレー推進事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	県及び県南地域の市町村、関係団体で組織する県南フードバレー推進協議会で実施する事業であるため。
17	(コロナ) 商工業制度資金利子補給補助事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	利子補給事業であるため、3年間継続して実施する必要がある。
18	(コロナ) 商工業経営支援補助事業	①統廃合	廃止	実施時期	感染症の蔓延による事業者の経済的損失に対し、直接的に支援する必要があるため実施。新型コロナウイルス感染症に関連する事業であるため廃止。
19	(コロナ) 学生応援プロジェクト事業	①統廃合	廃止	実施時期	感染症の蔓延による学生の経済的損失に対し、支援する必要があるため実施。新型コロナウイルス感染症に関連する事業であるため廃止。

20	駅東側駐車場用地購入事業	①統廃合	廃止	実施時期	
				令和2年度に購入済み（事業完了）	
21	(コロナ)雇用調整助成金等申請費用補助事業	①統廃合	廃止	実施時期	
				新型コロナウイルス感染症に関連する事業であるため廃止。令和2年度で事業完了。	
22	中心市街地活性化事業	⑥改善	その他	実施時期	
				駅前開発について令和4年度より検討を開始する。	
23	(コロナ)感染拡大防止対策事業	①統廃合	廃止	実施時期	
				新型コロナウイルス感染症に関連する事業であるため廃止。令和2年度で事業完了。	
24	(コロナ)新しい旅行スタイル環境整備事業	①統廃合	廃止	実施時期	
				おかどめ幸福駅のレンタサイクル整備事業で、令和2年度に購入整備完了のため、廃止。今後の管理などについては指定管理者で実施していく。	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の方向性	事業費	業務量	理由
	減額	現状維持	新型コロナウイルス感染症対策としての事業が減少することが見込まれるが、依然不透明であり、終息に向かった場合には、地域活動の活性化及び各種イベントが再開することとなるため、左欄のとおりと推測する。

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 商工施設費	(細別)	番号	
会計	一般会計	款 06 商工観光費	項 01 商工費	目 02 商工施設費
			担当	商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる就業空間の構築	② 幸せ感じる就業空間の構築
	分野別計画	快適な商工業環境の創出	快適な商工業環境の創出
	施策	中心市街地・商店街活性化	中心市街地・商店街活性化

1 PLAN（計画）

事業対象（誰が・何が）	事業の意図、目的
1 町民	1 住民生活中心である駅周辺の商店街活性化を目的とする
2	2
3	3
事務事業の概要	（業務構成）
1 住民生活中心である駅周辺の商店街活性化を目的とする	商工コミュニティセンター維持管理業務
2	
3	
義務・定型業務（意図・目的の設定が困難なもの）	

2 DO（実施）

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
施設の使用	団体	793	686	233	170	137.1%	150
施設の使用	人	20,285	21,735	5,593	4,600	121.6%	4,100
施設使用料金等	千円	3,664	3,342	2,301	1,380	166.7%	270
自主事業（イルミネーション・ひな祭り）	回	2	2	1	2	50.0%	1

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費(千円)						業務評価	
		活動指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績		R3目標
		事業費			H30決算	R1決算	R2決算		R3見込
1	商工コミュニティセンター管理運営業務	●	事業費	千円	12,246	10,767	10,253	11,393	見直し
2	商工コミュニティセンター大規模改修工事		事業費	千円	0	0	110,405	0	廃止
3	商店街街路灯設置事業	●	事業費	千円	0	6,743	0	0	休止
4			事業費	千円					
5			事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A					12,246	17,510	120,658	11,393	
職員人件費等		業務量(人工数)		0.90	0.90	0.80	1.50		
		人件費(千円) B		7,079	7,061	6,480	11,928		
総事業費(千円) A+B					19,325	24,571	127,138	23,321	
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		分担金							
		地方債					104,800		
		その他特定財源		3,664	3,342	2,301	2,092		
		一般財源		15,661	21,229	20,037	21,229		

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	住民生活中心である駅周辺の商店街活性化を目的とする	○概ね目標の成果が得られた
	2		
	3		
	<説明> 感染症の影響による閉館及び開館時間の短縮等により、運営費・利用収入等に影響が出ている。施設の利用については、その時点での状況に応じ柔軟な対応に努めた。		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> くま側鉄道駅及び路線バス停留所等地域交通機関の拠点としての役割に加え、イベント開催等による駅周辺の活性化等に関しての重要度は高く、町が適切な運営を継続していくことが必要と思われる。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	商工コミュニティセンター管理運営業務	③民営化・民間委託	民間委託で実施	実施時期	未定
				今後、あさぎり駅前再開発の方向性に沿った管理方法（民間委託等を含む）について、総合的に検討する必要がある。	
2	商工コミュニティセンター大規模改修工事	①統廃合	廃止	実施時期	
				令和2年度に大規模改修工事竣工済み	
3	商店街街路灯設置事業	⑦現状維持	休止	実施時期	
				安全確保のためすべての街路灯を更新する方向で検討しているが、適当な財源及びより適切な設備管理方法（現存設備の延命措置を含め）について検討を行っているため。	
4				実施時期	
5				実施時期	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	前年並	現状維持	大規模改修工事が完了し、事業費・業務量の縮小は見込まれるが、街路灯事業や駅前開発の進展によって増加する可能性もある。

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 観光費	(細別)	番号	
会計	一般会計 款 06 商工観光費	項 02 観光費	担当	商工観光課
		目 01 観光費		

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる交流空間の構築	②
	分野別計画	交流と連携による地域づくり	
	施策	魅力あふれる観光の振興	

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 あさぎり町に訪れる観光客	1 観光客の増加
2	2 観光客の滞在時間、消費額の増加
3	3
事務事業の概要	(業務構成)
1 観光客の増加	観光振興事業業務、白髪岳を守る山の会助成事業
2 観光客の滞在時間、消費額の増加	おかどめ幸福販売店指定管理、ビハ公園キャンプ場指定管理
3	
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	観光施設管理業務

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等	
		実績	実績	実績	目標	達成度		目標
観光客入込客数 (年間)	人	54,301	25,459	40,581	40,000	101.5%	40,000	総合計画96,000人
町内の旅館・ビジネスホテル等宿泊者数 (年間)	人	6,592	5,467	5,745	6,000	95.8%	6,000	総合計画7,600人
番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費 (千円)						業務評価
		活動指標名 事業費	単位	H30実績 H30決算	R1実績 R1決算	R2実績 R2決算	R3目標 R3見込	
1	ビハ公園キャンプ場指定管理業務 ●	利用者数	人	818	833	240	900	現状維持
		事業費	千円	2,450	2,530	2,987	2,534	
2	おかどめ幸福販売店指定管理業務 ●	来店者数	人	13,627	7,403	4,310	8,000	現状維持
		事業費	千円	3,182	3,157	3,909	3,345	
3	観光施設管理業務 ●	指定管理件数	件	2	2	2	2	現状維持
		事業費	千円	4,587	21,787	2,799	5,135	
4	観光振興事業 ●	新聞・雑誌PR回数	回	15	15	5	15	現状維持
		事業費	千円	2,154	2,311	1,462	2,487	
5	白髪岳を守る山の会助成事業 ●	白髪岳登山者数	人	921	523	330	600	現状維持
		事業費	千円	130	130	0	130	
6	人吉球磨観光地域づくり推進事業 ●							現状維持
		事業費	千円		40	2,632	9,364	
直接事業費の合計 (千円) A				12,503	29,955	13,789	22,995	
職員人件費等		業務量 (人工数)		3.00	3.00	1.60	2.90	
		人件費 (千円) B		23,595	23,537	12,959	23,061	
総事業費 (千円) A+B				36,098	53,492	26,748	46,056	
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金				2,726		
		分担金						
		地方債						
		その他特定財源					10,007	
一般財源				36,098	53,492	14,015	46,056	

3 CHECK (評価)

項 目		判 定
事務事業 の成果	1 観光客の増加	△目標とする成果が得られていない
	2 観光客の滞在時間、消費額の増加	△目標とする成果が得られていない
	3	
	<説明> 観光客数については、温華乃遥温泉の廃止、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止等が重なり大幅な減少となった。 消費額については、昨年同様算出不可。	
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する	
	<説明> 観光振興や町有資産である観光施設の管理は、他の関係団体に委託するのは適当ではないと思われるため、町で実施すべきと考える。	

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	ビハ公園キャンプ場指定 管理業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				指定管理による施設管理委託料と通信費であるため	
2	おかどめ幸福販売店指定 管理業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				指定管理による施設管理委託料と通信費であるため	
3	観光施設管理業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				町で管理している観光施設の維持管理に関する業務であるため	
4	観光振興事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				観光やイベント開催に関する業務と、緑のまちづくり事業を廃目にしたことによる花の苗や花管理の経費であるため	
5	白髪岳を守る山の会助成 事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				白髪岳を守る山の会への活動補助金であり、補助金額等については補助金等審議会の答申を受けて実施している	
6	人吉球磨観光地域づくり 推進事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				令和3年度に協議会を法人化し、地域観光DMOとして観光地域づくりへの取り組みを行っていくが、市町村負担金及び派遣職員経費については、当面は継続となる見込みとなっている	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	前年並	現状維持	町で実施する観光施設の維持管理と観光振興に係るイベントや広報等については、継続して実施していく必要があるため。

事務事業評価シート (R3実施)

あさぎり町

事務事業名	(費目) 緑の街づくり事業費	(細別)		番号	
会計	一般会計	款 06 商工観光費	項 02 観光費	目 2 緑の街づくり事業	担当 商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる交流空間の構築	②
	分野別計画	交流と連携による地域づくり	
	施策	魅力あふれる観光の振興	

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 住民及び町を訪れた人	1 景観を楽しみながら気持ちよく過ごしてもらう
2	2
3	3
事務事業の概要	(業務構成)
1 景観を楽しみながら気持ちよく過ごしてもらう	緑の街づくり事業、菜の花プロジェクト補助金、花のある町づくり住民協働事業
2	
3	
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
植栽・配布場所	件	27	20	10	15	66.7%	0

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費 (千円)						業務評価
		活動指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	
		事業費		H30決算	R1決算	R2決算	R3見込	
1	緑の街づくり事業	植栽・配布箇所	箇所	27	20	10	0	見直し
		事業費	千円	2,038	1,439	899	0	
2	菜の花プロジェクト補助金	助成金の交付		1	1	0	0	廃止
		事業費	千円	150	150	0	0	
3	花のある町づくり住民協働事業	花壇管理団体の数		1	1	1	0	見直し
		事業費	千円	99	94	94	0	
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
直接事業費の合計 (千円) A				2,287	1,683	993	0	
職員人件費等		業務量 (人工数)		0.30	0.30	0.30	0.00	
		人件費 (千円) B		2,360	2,354	2,430	0	
総事業費 (千円) A+B				4,647	4,037	3,423	0	
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		分担金						
		地方債						
		その他特定財源				993		
		一般財源			4,647	4,037	2,430	0

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	景観を楽しみながら気持ちよく過ごしてもらう	△目標とする成果が得られていない
	2		
	3		
	<説明> 花や苗を栽培を委託している方が病気となり、一年を通しての栽培が困難となった。		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> あさぎり町に来訪される方々と住民に気持ち良く過ごしてもらうため、今後も公共施設や観光施設の景観形成は必要である。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	緑の街づくり事業	①統廃合	他の事業と統合	実施時期	令和3年度
				令和3年度より、ハウスでの花管理を廃止し、事業については観光費（観光振興事業）に統合し、花の苗を購入して配布する方法に変更。	
2	菜の花プロジェクト補助金	①統廃合	廃止	実施時期	令和2年度
				事業廃止	
3	花のある町づくり住民協働事業	①統廃合	他の事業と統合	実施時期	令和3年度
				令和3年度より、観光費（観光振興事業）に統合（黒田地区花管理業務）	
4				実施時期	
5				実施時期	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	減額	縮小	緑のまちづくり事業は、令和3年度より廃目としている。継続事業については、観光費（観光振興事業）に統合。

事務事業評価シート (R3実施)

あさぎり町

事務事業名	(費目) 定住促進費	(細別)	番号	
会計	一般会計	款06商工観光費	項03定住促進費	目01定住促進費
			担当	商工観光課

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる生活空間の構築	②
	分野別計画	快適な生活環境づくり	
	施策	若者の定住に向けた環境整備と都市からの移住促進	

1 PLAN (計画)

事業対象 (誰が・何が)	事業の意図、目的
1 移住・定住希望者 2 民間企業 3 町民	1 町の定住人口の確保と増加のため、移住・定住希望者への対応や住宅取得を奨励 2 定住促進に繋がる雇用の場の創出として、企業誘致や企業創業、事業継承を推進 3 結婚を支援することで、定住者の増加及び人口減少の歯止めを目的

事務事業の概要	(業務構成)
1 町の定住人口の確保と増加のため、移住・定住希望者への対応や住宅取得を奨励	移住定住促進事業、職業紹介所運営事業、空き家バンク事業
2 定住促進に繋がる雇用の場の創出として、企業誘致や企業創業、事業継承を推進	企業誘致事業
3 結婚を支援することで、定住者の増加及び人口減少の歯止めを目的	結婚対策事業
義務・定型業務 (意図・目的の設定が困難なもの)	

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
移住定住促進事業	件	2	5	4	10	40.0%	6
企業誘致	件	1	0	1	2	50.0%	1
平成15年度からの誘致企業件数	件	12	12	13	15	86.7%	15
就職者数	人	8	4	17	10	170.0%	15
空き家バンク登録物件	件	3	5	5	5	100.0%	5
婚活イベント開催	回	10	3	0	2	0.0%	5

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費 (千円)						業務評価	
		活動指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績		R3目標
		事業費			H30決算	R1決算	R2決算		R3見込
1	移住定住促進事業	●	補助件数	件	2	5	4	6	現状維持
			事業費	千円	1,000	2,300	1,400	2,400	
2	企業誘致事業	●	企業訪問件数	件	54	17	0	10	見直し
			事業費	千円	26,198	797	200	1,372	
3	職業紹介所運営事業		求人数	人	182	81	170	180	現状維持
			事業費	千円	0	0	0	0	
4	空き家バンク事業		物件登録件数	件	5	5	5	5	見直し
			事業費	千円	0	0	0	0	
5	結婚対策事業	●	イベント開催回数	回	10	3	0	5	見直し
			事業費	千円	1,933	1,996	2,237	2,165	
6			事業費	千円					
7			事業費	千円					
直接事業費の合計 (千円) A					29,131	5,093	3,837	5,937	
職員人件費等			業務量 (人工数)		1.50	1.80	1.80	2.10	
			人件費 (千円) B		11,798	14,122	14,579	16,699	
総事業費 (千円) A+B					40,929	19,215	18,416	22,636	
財源内訳					国庫支出金				
					県支出金				
					分担金				
					地方債				
					その他特定財源				
一般財源					40,929	19,215	18,416	22,636	

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	町の定住人口の確保と増加のため、移住・定住希望者への対応や住宅取得を奨励	△目標とする成果が得られていない
	2	定住促進に繋がる雇用の場の創出として、企業誘致や企業創業、事業継承を推進	△目標とする成果が得られていない
	3	結婚を支援することで、定住者の増加及び人口減少の歯止めを目的	△目標とする成果が得られていない
	<説明> ・新築やリフォームによる定住の推進については、一定の成果を上げることができた。 ・企業誘致に関しては、地元企業が人手不足の状況であり、雇用を確保できない地域に企業を誘致することは非常に困難である。 ・結婚対策については、コロナ禍のため事業実施ができなかった。		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> 定住の促進は、地域コミュニティの活性化につながるものであり、まちづくりの根底にある事業であるため、町が率先して行う事業だといえる。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	移住定住促進事業	⑥改善	事業費の見直し(拡充・縮小)	実施時期	
				町の定住人口の確保と増加を図るため、事業費拡充。	
2	企業誘致事業	⑥改善	その他	実施時期	未定
				今後は、人吉球磨地域で連携し、企業誘致に関する情報の共有や事業の長期目標を設定するなど、広域的に企業誘致を行うことができる体制づくりを行う必要がある。	
3	職業紹介所運営事業	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
あさぎり町への移住及び定住の促進と、町内商工業者の振興及び地域経済の活性化を図るため、引き続き求人・求職のあっせんを行う					
4	空き家バンク事業	⑥改善	自動化・効率化へ向けた見直し	実施時期	令和3年度
				移住希望者のニーズに合った物件の登録推進を図るため、登録可能物件の見直しを行い、空き家バンクに登録しやすい体制を構築する	
5	結婚対策事業	⑥改善	自動化・効率化へ向けた見直し	実施時期	令和3年度
				会員情報をデータ化するなど、マッチング等が容易になるよう情報管理体制を構築し、効率化を図っていく。	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	増額	拡大	各種事業について、十分な成果が得られているとはいえない状況であるため、その改善のために多少の事業費・業務量の増加は想定される。